

**ブライト・ヴィーが Future Care Lab in Japan と共に  
モックアプリを参考展示**

～『2030年から問う介護』業界が必要とする介護記録とは何か～



株式会社 bright vie（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：飯田 友一、以下「ブライト・ヴィー」）は、SOMPO ケア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：鷺見 隆充、以下「SOMPO ケア」）が運営する「人間」と「テクノロジー」の共生による新しい介護のあり方を創造するリビングラボ「Future Care Lab in Japan」において、2024年9月2日から展示される、未来の介護事業モデル『2030年から問う介護』の中で、「職員が記録しない介護記録～記録するための業務時間を極限まで減らす～」をテーマに、モックアプリ\*を展示いたします。この展示は、「介護業界が真に必要な介護記録とは何か」について、この業界に携わる方々と考えていくことを目的に、ブライト・ヴィーと Future Care Lab in Japan が共同開発しました。

\*主にビジュアルやナビゲーションの要素を確認するために使用されるテスト用アプリケーションを指す

**■ 共同開発の背景**

ブライト・ヴィーと Future Care Lab in Japan は、2021年11月に介護における新たな連携プラットフォームの共同構築を発表して以降、介護現場に必要な ICT とは何かについての協議を重ねてきました。

参考：[介護における新たなデータ連携プラットフォームの共同構築を開始（2021年11月25日）](#)

その中で、「介護記録は誰のためのものか？」「記録内容が過剰になっていないか？」という介護記録の本質に迫る議論を行ってきた背景から、今回の Future Care Lab in

Japan 主催の『2030 年から問う介護』の模型展示にあたり、「職員が記録しない介護記録～記録するための業務時間を極限まで減らす～」のテーマを共同で構築しました。

#### ■ 展示の特徴

「介護現場が真に必要とする介護記録項目は何か？」について、複数の介護職員の方々からヒアリングのうえ、設計しました。また、記録するための業務時間を極限まで減らすことを意識し、センサーデータ等を活用した自動記録化できる仕組みを想定しています。今後、『2030 年から問う介護』に向けた当モックアップの参考展示が、「現場が本来求める介護記録」に関する議論のきっかけとなることを期待しています。

ブライト・ヴィーは、働き続けたい介護現場の創造をサポートするために、介護向けデータ連携プラットフォーム「ケアデータコネクト」や、介護向け勤怠管理を軸とした働き続けたい介護現場づくりを目指す ICT「ケアズ・コネクト」を提供してきました。今後も介護現場が抱える課題解決に向けて、持続可能な介護現場の実現を目指していきます。

#### < 『2030 年から問う介護』 について >

Future Care Lab in Japan では、介護現場において非常に重要なのは、「どんなテクノロジーを導入するか」ということよりも、「なぜ取り組むのか」と考えています。

今回、「2030 年」という少し先の未来を設定し、この 2030 年に向けてどのような介護現場にしていきたいかを共に考えるきっかけづくりとして、共同パートナーと共に開発した 4 つの模型の展示を行います。

展示を見学された介護事業者さまが「自社ならどう考えるか」、ご意見をお聞かせいただきたいと考えています。

#### < コンセプト >

ここにあるのは、2030 年の介護。  
少し先の、でもそう遠くない未来の模型。

私たちが伝えたいのは、最新の技術ではありません。  
少子高齢化や人手不足、社会保障費の増加など、  
さまざまな困難と向き合う介護業界の中で、  
どうすれば介護をされる人、する人が快適に生活できるのか。  
介護の未来に考えを巡らせるためのヒントを展示しています。

2030 年まで限りある時間の中で、何を当たり前にしていくのか。  
いまの当たり前の中から、何を変えていくのか。  
それはすべて、私たちの意識から変わっていく。  
ともに考え、ともに創っていくために。

聞かせてください。  
あなたにとって「良い介護」とはなんですか？

<4つの模型/共同開発パートナー>

① 「ひろがる、介護施設の可能性～開かれた介護施設へ～」

共同開発：国立大学法人東北大学、プランス株式会社

② 「快適な暮らしを、考える～居室は寝るだけの場所から、趣味や人との団らんの場所にもなる～」

共同開発：パラマウントベッド株式会社

③ 「職員が記録しない介護記録～記録するための業務時間を極限まで減らす～」

共同開発：株式会社ブライト・ヴィー

④ 「働き手はどんな職場を選ぶか？～負担を軽減しながら働ける職場環境～」

共同開発：社会福祉法人若竹大寿会

全体デザイン

共同開発：株式会社 A1Growth

<展示の概要>

- ・ 展示開始：2024年9月2日（月）～終了時期未定
- ・ 場所：Future Care Lab in Japan  
〒140-0002 東京都品川区東品川 4-13-14 グラスキューブ品川 10階
- ・ 入場料：無料（要事前予約）
- ・ 対象：介護サービス事業者さま  
※経営層と現場職員を含めた3人以上でのご来訪を推奨します。
- ・ 事前予約方法：Future Care Lab in Japan [公式ウェブサイト](#)から来場希望日の2週間前までにお申込み下さい
- ・ Future Care Lab in Japan についてのお問い合わせ：03-5781-5430

<ご参考>

株式会社ブライト・ヴィー

<https://brightvie.me/>

SOMPOケア

<https://www.sompocare.com/>

Future Care Lab in Japan

<https://futurecarelab.com/>

プランス株式会社

<https://planus.co.jp/>

国立大学法人東北大学 知能機械デザイン学分野

平田・サラザル研究室/田村研究室

<https://srd.mech.tohoku.ac.jp/>

パラマウントベッド株式会社

<https://www.paramount.co.jp/>

株式会社 A1Growth

<https://a1growth.jp/>

社会福祉法人若竹大寿会

<https://wakatake.net/>

<株式会社 bright vie について>

株式会社 bright vie は、「働き続けたい介護現場を創る」ことをミッションに掲げ、介護現場が真に求める ICT サービスの提供を通じて、介護スタッフが働きやすい職場環境づくりを目指しています。介護や医療における機器データの取得や連携、分析から活用までを行う

データ連携プラットフォーム『ケアデータコネクト』や、介護事業所のスタッフ定着をゴールに設計された介護向けコミュニケーション ICT システム『ケアズ・コネクト』により、介護現場の業務効率化や介護スタッフの負担軽減等をサポートし、介護の質の向上に貢献してまいります。

<Future Care Lab in Japan について>

2019 年に開設された、SOMPO ケア株式会社が運営する、介護福祉に関わるテクノロジーの研究所です。介護テクノロジー研究開発と実装における課題解決のため、開発企業・介護事業者の中心となり、介護現場で活用できるテクノロジーを共創するリビングラボとして、介護テクノロジーの実証評価・開発企業の開発支援を行ってきました。介護現場のニーズに応じて介護を受ける人、介護をする人の生活を向上させ、活用し続けられるテクノロジーを生み出し続け、持続可能で魅力ある介護サービスの事業モデルを創造に貢献し続けてまいります。

<お問い合わせ先>

株式会社 bright vie 経営企画課

TEL: 052-734-4628 E-mail: info@brightvie.me